

JR山陰本線 WT 検討結果報告書（案）

<p>現状・課題 (路線の特性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な観光資源を有しながら、遠方からの列車による来訪者が極めて僅少である ・運行頻度に課題があり、列車を積極的に選択する要因に乏しい ・異なる交通事業者との連携が不足している ・今後も人口減少が見込まれる中、沿線地域の努力のみで JR ローカル線の維持は厳しい
<p>利用促進策の 検討の方向性</p>	<p>利用促進策として次の5つの項目に取り組む。これらを進めるにあたっては、WT を継続し、取組ごとの役割分担等の詳細を検討・協議する。また、具体化する取組については PDCA サイクルを回し、その実効性を高めていく。合わせて、国に対して山陰本線の意義、活性化への積極的な関与を求めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 公共交通の利便性向上等、観光地へのアクセス改善に向けた取組 (2) 兵庫 DC や大阪・関西万博を契機とした観光利用者数の増加に向けた取組 (3) 駅周辺整備による利用者数の増加に向けた取組 (4) 外国人や移住者、専門職大学生など日常利用時の利便性向上策の実施検討 (5) 地域の発展にも繋がる地域公共交通体系の構築
<p>利 用 促 進 策 (案)</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 公共交通の利便性向上等、観光地へのアクセス改善に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ IC カードの導入/IC 導入駅の拡大/キャッシュレス決済 (2) 兵庫 DC や大阪・関西万博を契機とした観光利用者数の増加に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ WESTER への情報集約、地域の魅力発信 ・ 来ないとできない体験（演劇列車、謎解き列車等） ・ マーケティングリサーチ ・ 周遊切符造成、レールパスの適用を拡大した商品設定 (3) 駅周辺整備による利用者数の増加に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の舗装、駐車(輪)場の整備、景観整備、バリアフリー化、ステーションライブラリー ・ 列車内の活用（写真や絵画等の掲示） ・ キッチンカー誘致、芸術鑑賞 ・ 駅への愛称付加 (4) 外国人や移住者、専門職大学生など日常利用時の利便性向上策の実施検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期券の購入補助、特急料金補助、列車利用者補助 ・ 学生へのチケットレス特急券利用の周知 ・ 駅活性化事業補助 ・ 列車利用への意識醸成（列車利用を想定した会議・イベント開催、公共交通をみんなで守る意識啓発等） ・ 親子で列車を学ぶイベント、体験乗車 ・ ジオレールと連携した JR ハイキング、自然や歴史、文化を訪れるハイキングツアー ・ 学生や住民の意見集約・発信・意見の反映 (5) 地域の発展にも繋がる地域公共交通体系の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 列車とバスの相互利用 ・ レールパスの適用拡大に向けた確認 ・ 二次交通の充実（デマンド型タクシーの実証運行、デマンドバス、駅前リサイクルの拡充）